

## 「世界一」目指し白熱！ 各世界ホタテ釣り選手権大会

10月29日、天然豊浦温泉しおさいで、第5回世界ホタテ釣り選手権大会団体戦 秋の陣が行われ、19チーム約90人が参加しました。1チーム3人で専用のさおをリレーし、3分以内にホタテを釣った枚数を競い大接戦の末に優勝した「笹幕府」(室蘭市)は「優勝でき、とてもびっくり。来年も連覇を目指して頑張りたい。」と仲間と喜びを分かち合っていました。

11月19日には地域交流センター「とわにー」で、第5回世界ホタテ釣りジュニア選手権大会が行われ、町内外から24名が参加しました。水温が低く、ホタテの反応が鈍い中、3分間で8枚を釣り上げた伊達市の渡辺心奈さん(6年)が初出場で優勝しました。渡辺さんは「優勝できるなんてびっくり。ホタテはみんなで刺身やフライで食べたい。」と嬉しそうに話してくれました。



▲優勝した渡辺さんに表彰状(ジュニア)



▲盛り上げてくださった参加者(団体戦)



▲ホタテマスクとパシャリ。(団体戦)



▲町内の子どもたちも負けじと次々に釣り上げていました。(ジュニア)

## 初出場で好成績残す

全国障害者スポーツ大会道代表 来庁



▲北海道選抜のユニホームをまとう柴田さん(右)と柏倉さん。

11月8日、やまと郭公の里の柏倉宏規さんと柴田徳明さんが、10月28日～30日に開催された「第17回全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技」に北海道代表として出場し、結果報告のため役場を訪れました。

約400人が、8人1グループごとに競い、柏倉さんはコントロールを競うアキュラシー競技で銅メダルを、柴田さんは惜しくもメダルを逃しましたが、アキュラシー競技と距離を競うディスタンス競技ともに4位という好成績を残しました。

## 写真から溢れだす小幌の魅力

小幌フォトコンテスト2017審査発表



▲最優秀賞に輝いた河原 泰平さん(せたな町)の作品【待ち時間の過ごし方】

第1回目の開催となる小幌フォトコンテスト2017の入選作品が決定いたしました。

鉄道写真家の矢野直美さんや小幌駅の駅ノート管理人の水瀬雅美さんなど6名の審査員が、東京や大阪など30名から応募された117作品のうち最優秀賞1点、優秀賞6点、入選作品12点を選考しました。選ばれた写真は今後、フォトカレンダー製作や小幌のPRのために使われます。

入賞された作品は、豊浦町ホームページにて公表しておりますので、ぜひご覧ください。